

ひのたにえん

2020 夏号

創立 50 周年のお知らせ

ひのたに園は、令和 2 年 6 月 1 日をもって創立 50 周年を迎えます。

これまで当園の運営に際し、関係各位から温かいご支援を頂戴しましたこと、あらためて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、記念行事につきましては、翌年に延期をさせていただくことといたしました。

開催日程などが決まりましたら改めてご案内申し上げます。引き続き、変わらぬご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



4 月 12 日、花見会にて

「たまには、こういう会もいいねえ」

「命を守るために」今、思うこと。

ひのたに園 園長 齋藤誠一

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。滋賀県では 5 月 8 日現在の感染者数は 97 人です。ひのたに園が所在する日野町では、幸いにも感染者は確認されていません。

4 月 16 日に滋賀県にも国の緊急事態宣言が発令されました。当園では、滋賀県が提唱する「5 分の 1 ルール」に則り「5 日に 1 回の外出」を利用者の皆様をお願いしています。

また、新規入所者については、「感染が疑われるもの」とみなし、施設内のレッドゾーン（隔離スペース）において一定期間経過していただく対応をとっています。多くの社会福祉施設と同様に、当園にも基礎疾患を持つ方が多数入所されていますので、施設内感染を絶対に起こさないため、いろいろと悩んだ結果この形をとっています。

以降、2 人の新規入所者を迎えてますが、いずれも入所数日後に 37.5℃以上の発熱があり、その度に施設内に緊張が走りました。通常以上の負担感も生じています。私自身もはたして新規入所者を受け続けてよいのか、日々頭を悩ませています。しかし、今後、戦後最悪とも言われる経済の低迷が予測されている我が国において、生活に困窮し、住居を失う方々、命が危険にさらされる方々も増えてくることは確実と思います。

その際、重要な役割を担うはずの社会福祉施設に受け入れを拒むマインドが働くことを防ぐためにも「対人援助が無いと命にかかわる人」を PCR 検査対象者に含めるべきと考えます。

この訴えは、感染が疑われる方に検査が届いていないと報道される現状において、なかなか通用しないのではと思いつつ、人の命を一人でも救うことを目的とすると必要な措置なのではないでしょうか。

最近のひのたに園

1月

1/1 初詣

1/21 「滋賀の居住支援を語ろう！」開催
(居住支援活動支援事業)

2月

2/7~9 アメニティーフォーラム

3月

3/31 離任式 (5名の職員が異動)

4月

4/1 着任式 (4名の職員が着任)

4/12 花見会



3/31 離任式にて

1/21 「滋賀の居住支援を語ろう！」を開催しました。

1/21(火)、県内の居住支援関係者6名を講師にお招きし、研修会を実施しました。約30名の方が集まりました。滋賀県住宅課の永里氏より、県内の居住課題を整理いただき、パネルトークでは、しが入居支援センターの尾畑氏、四つ葉のクローバーの杉山氏、大津夜まわりの会の今村氏、大津市社協の山口氏から、それぞれの支援事例や課題をお話いただきました。最後はひのたに園との縁もある(株)sublime不動産早川氏からの「不動産業界のウラ話」。不動産関係者の参加も多く、活発な意見交換が行われました。



会場の様子

4/12 花見会を開催しました！

例年どおりに準備してきましたが、今年は新型コロナウイルス感染防止の為、当初の予定を中止せざるを得ず3月末日になって急遽内容を練り直しました。その頃には全国的な感染拡大が報じられており予期された事とは言え、約2週間の準備期間の中で職員がアトラクションを考えて披露し、午後からはカラオケで一日を過ごしました。利用者さんと職員のみで実施した花見会でしたが、利用者さんから「よかったわ」と感想をいただき安堵しています。例年同日に実施の家族会も延期としました。



「酒飲んで、客にアホ！いうて。こんなおもしろい仕事はない。」

長谷川きみ子さん（67歳）

若い頃は夜の仕事で、バリバリ稼いでいたという長谷川さん。念願かなって、ゆっくりお話を聞きました。

>お生まれはどちらですか？

京都の、京丹後や。機織ってた、家で。丹後ちりめんってあるやん、今はあかんけど。でも25歳で家を出て、17歳の時にお世話になったお店に連絡してな、水商売始めたんや。

>クラブですよ、仕事は面白かったですか？

3か月でナンバーワンになったわ（笑）お金も結構もらってたわ、1週間で200人以上の指名がいてな。指名されてもちょっと座って「はいさよなら〜」「エンジョイしてって〜」ってすぐ戻って。賢いやろ（笑）

>1週間で200人。。凄いですね。。

酒飲んで、お客さんに「アホ！」言うて、金貰える。こんなおもしろいことないじゃん。そのあとは店ひらきたいって夢のために、金貯めて。東京やら福岡にも行ったわ。（聞き手・文 御代田）



最近、マスクを数十枚も作ってくださっている長谷川さん。

人生いろいろ

「面白いけどもいろんな経験してきたわけよ。」

佐伯嘉弘さん（65歳）

様々な分野で仕事をされてきた佐伯さん。そこでの苦労した体験を教えてくださいました。

>今までどんな仕事をされてきたんですか。

いろいろやったよ。18の時にな、サラリーマンって長いな一って嫌になったわけよ。俺はそんな器やないなと。楽しくて銭儲ける方法考えたんや。

>楽しくて銭儲ける方法（笑）気になります。

ほんで探してたらペットショップ募集してたわけよ。ペット扱うぐらいならたやすいことや。ところが一転大きな間違いよ。生き物扱うから、365日休憩ないわけよ。食事やらなあかん、散歩しなあかん、相手しなあかんねんもん。

>相手も生き物ですからね。

命あんねんもん。そのときは金魚が入ったわけよ。ほな「はい！僕やります。」って担当なったんや。でも和金、琉金、いろんな種類あるんや。それ覚えなあかん。「うわーいややなー」て思ったわけよ。ほんで金魚のオススメな。それも覚えるんやで。金魚のメスはちょっと丸いねん、顔もおとなしい顔しとんねん。それを見分けるんやって。ほりゃ難しいで。



「自らの人生は背中語る」と佐伯さん

>はつきりしない違いですね。

せやで。ほんで金魚は絶対嫌やってなってね。でもペットショップは何でもやれなあかんわけよ。鳥もおったんや。客はね、また意地悪い「この鳥くれ、あの鳥くれ」って言うわけよ。鳥って、あっちこっち飛びよんねん。「あーもうこのくそたれ」思ったわ（笑）。

>捕まえようと思っても飛んでいくんですね。

うん。そやけど客はその鳥や思ったら、それにしか目を付けへんわけよ。追っかけて捕るわけや。そしたらオスかメスか見んねん。肛門の位置が違うんや。

>また微かな違いですね。最後はわかるようになったんですか。

わからなあかん、仕事やもん。そんなこともあるわけよ。

まあ面白いけどもいろんな経験してきたわけよ。

（聞き手・文 北岸）

「アトリエ・セラミカ」(陶芸活動)が盛り上がっています！



アトリエ・セラミカの活動が始まって半年が経ちました。

始まった頃は1つの作品を作ることに精一杯でしたが、今では皆さん次々と作品を作り上げています。最近では陶芸専用の絵の具を使って作品に色を塗ったり、模様を描いたりと活動内容も広がってきました。陶芸作品は焼く前と焼きあがった後でまた違った雰囲気を楽しむことができ、参加者の皆さんも毎回焼き上がりを楽しみに活動されています。各々の個性が光る作品が続々と完成しています。(藤田)



中田美穂さん(陶芸家・日野町在住・「アトリエ・セラミカ」講師)からのコメント

皆さん、陶芸を楽しんでくださり、ありがとうございます。大変感謝しております。

活動中、どんどん形にしていかれる方や、悩んだり考えたりしながら作られる方など、それぞれに特徴ある素敵な作品が生まれています。私は、指導らしいことをする必要がほとんどなく、ただ皆さんの作品を無事に焼き上げるだけです。これは、凄いことです。何も無いところから、自分で形を生み出しておられるのです。創造です。中々出来ることはありません。が、けっこう簡単にされています。驚きです！そして、会話も生まれています。凄いことです。楽しいです。陶芸を介して、皆さんが豊かな時間を過ごされています。

いや、私がかな？ということで、これからも、陶芸を介して、豊かな時間を共に過ごしましょう。



中田美穂さん

新任職員紹介

- ①出身 ②好きなもの
- ③3か月働いて感じる、ひのたに園で働く面白さ



大濱翼

- ①沖縄県浦添市です。沖縄は青い海・青い空が広がり、見どころいっぱい。食べ物・飲み物もすごくおいしくていいところですよ。(私は滋賀県での生活が長くなりましたが)
- ②3年前から健康のためにジムに通っています。(今は閉鎖中でいけません)
- ③ひのたに園は3回目の勤務になります。平成23年度、24年度の管理棟、サービス棟の改築にかかわっていました。思い出のいっぱいのひのたに園です。また、新たな出会いもあり、これから一生懸命やっています。よろしくお願いします。



杉田由佳

- ①甲賀市 田舎で育ちました。
- ②お笑いが好きです。休みの日は撮り溜めたバラエティー番組を観ています。あとは大きな本屋さんに行って、ゆっくり本探するのが好きです。
- ③4月から異動となり、ひのたに園に来ました。初めてのことに戸惑うこともたくさんありますが、毎日新たな発見があったり、園の皆さんから教えてもらうこともたくさんあり、刺激を受けながら毎日楽しく過ごさせていただいています。どうぞよろしくお願いします。



北岸辰朗

- ①出身は滋賀の近江八幡市で、今年3月まで福井県で過ごしていました
- ②趣味はマラソン大会に出ることです。ちなみに中高大とずっと陸上の長距離やってきました。1500mなら並大抵の人には負けない自信あります。
- ③入職からしばらく経ちましたが、皆さんの多様な生き方に驚きの連続の毎日です。人生20年ほどしか生きてない若者ですが、だからこそ皆さんと色々お話しして学ばせてもらえる機会を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。



玉木広大

- ①兵庫県の西宮市というところ。ひのたに園で働くことになり滋賀県で一人暮らしを始めました。
- ②アニメを見るのが好きですが、他に新しい趣味を見つけないと思っています。
- ③ひのたに園に来てからまだ一ヶ月ほどで、園のことも皆さんのことも滋賀のこともまだまだ知らないことばかりです。全部が新しい事ばかりで大変ですが、新鮮で楽しい気持ちもあります。これからいろいろと教えてもらえると嬉しいです。よろしくお願いします。



救護施設「ひのたに園」広報誌(2020年夏号)

2020年5月発行

〒529-1601 滋賀県蒲生郡日野町松尾121

TEL 0748-53-0645 FAX 0748-53-2598